

[ 地域密着型サービス 運営推進会議 記録 ]

事業所名	介護事業所きこえ	所在地	佐倉市染井野4-5-4 他
サービス種類	■認知症対応型共同生活介護	■特定施設入居者生活介護	
	■地域密着型通所介護	■認知症対応型通所介護	
開催日時	2019年1月7日(月) 17:30-18:30	開催場所	佐倉市染井野4-5-4 介護事業所きこえ内
出席者	行政・包括支援センター	佐倉市臼井・千代田地域包括支援センター	: 1名
	地域住民代表	千代田地区民生委員・児童委員協議会	: 1名
	知見を有する者	佐倉白翠園ケアサービスセンター 介護支援専門員	: 1名
	利用者ご家族様	都合により欠席	: 0名
	事業所職員	管理者(4名)、管理室長、手話通訳	: 6名
		<b>合計 : 9名</b>	
議題	1. 挨拶及び運営推進会議の目的について		
	2. 参加者自己紹介		
	3. 各地域密着型サービス事業所より現況報告		
	4. 会社からの報告		
	5. 出席者より質疑応答、総評		
	<p><b>3. 各地域密着型サービス事業所より現況報告</b></p> <p>◆特定施設入居者生活介護(シャロームきこえ染井野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>↳入居人数 : 26 (定員27名) ※満床</li> <li>↳平均年齢 : 壱番館91歳/弐番館85歳</li> </ul> </li> <li>・入退去 入居 : 2名、退去 : 1名</li> <li>・男女構成 男性6名、女性 : 20名</li> <li>・平均介護度 壱番館:弐番館=2.7:2.4</li> <li>・イベント等活動報告</li> </ul> <p>①入居者のご家族による演奏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>↳入居者の家族により皆さんの前でギター演奏をしていただいた。</li> </ul> <p>②お寿司ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>↳社会参加及び生活にメリハリをつけるために外食ツアーを行った。場所は近くのお寿司屋であり、皆さん大変喜ばれていた。またお寿司屋の協力もあって、提供する寿司に配慮してくれた。</li> </ul> <p>③おやつ作り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>↳さつまいもと栗を使った季節のおやつ作り。さつまいもや栗を潰す、丸める、盛り付ける、といった手先を使うことが多く、良い機能訓練となった。</li> </ul> <p>④クリスマス会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>↳恒例のクリスマス会。クリスマス会は其々の入居者の方の家族も参加され、職員と家族が協力し合い、素晴らしいクリスマス会となった。家族はサンタ役をやって頂いたり前向きに協力してくれた。また、近隣の保育園の園児たちも来てくれ、入居者の方の前で歌を披露してくれた。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット・事故発生状況</li> </ul> <p>事故の内容①</p> <p>【内容】トイレ内での転倒。トイレで用済ませた後、介護職員の補助付きでリハビリの交換をしようとした時、本人の足が滑り、咄嗟に職員が支えようとしたが支えきれずそのままスタッフと共に床へ静かに座り込んでいった。</p> <p>【背景】これまでは問題なくリハビリの交換を行っていたが、当時の本人は腰痛や肩痛があり、本人により身体を支えることが出来なかった。</p> <p>【対策】腰痛と肩痛の疑いが見られた時は、注意を払うようにしていく。細目にコミュニケーションをとっていく。</p> <p>◆認知症対応型共同生活介護(グループホームシャロームきこえ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>↳入居人数 : 18 (定員18名) ※満床</li> <li>↳平均年齢 : 87歳</li> </ul> </li> <li>・入退去 入居 : 0名、退去 : 0名</li> <li>・男女構成 男性0名、女性 : 18名</li> <li>・平均介護度 2.4 (前回2.4)</li> <li>・イベント等活動報告</li> </ul> <p>①制作活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>↳今年の干支である猪の貼り絵を行った。A0サイズの用紙にちぎり紙を貼っていくといった大規模な制作活動であり、皆さんと協力し合って行った。</li> </ul> <p>②クリスマス会準備とクリスマス会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>↳クリスマスツリーへの飾りつけを入居者主体となって行った。1階と2階との合同でクリスマス会を実施し、ゲームや歌を歌ったり、サンタ役の職員からのプレゼント提供といった様々なイベントがあり、入居者達に楽しんで頂けた。クリスマスを認</li> </ul>		

識できない方もいたが、その場の雰囲気を楽しんでもらえた。

### ③ボランティア

↳ボランティアの方が来られ、入居者の前で堅琴の演奏をしていただいた。

- ・ヒヤリハット・事故発生状況

#### 事故の内容①

【内容】居室内での転倒。

【背景】歩行が不安定な方で歩行介助を要する又は車椅子が必要な入居者が居室内で転倒。

本人は骨折により最近まで病院に入院。ホームへ戻ってこられ、しばらく安静する必要があるにも関わらず、本人は骨折していた事を忘れ、何度も歩こうとされる。その時、脚に力が入らず転倒。

【対策】細目な見守り及びセンサーマット等の活用。

### ◆地域密着型通所介護(デイサービスきこえ染井野)

- ・利用状況

↳定員：18名

↳平均年齢：86歳

・平均介護度：1.6

- ・イベント等活動報告

↳7月から12月にかけて、社会参加を目的として近隣の保育園の園児との交流が中心だった。収穫祭、クリスマスの時に、10人近くの園児たちが来られ、利用者の前で歌等を披露してくれた。

↳近隣の中学生の職場体験を受け入れた。学生たちにはデイサービスで簡単な仕事を手伝っていただく。

- ・ヒヤリハット・事故報告

#### ヒヤリハット報告①

【内容】本人の健康状態について説明しても、理解して頂く事が難しく、思いがけない行動を起こす事があった。

【背景】サービス利用中に利用者に発熱が見られ、椅子に座って休むよう勧めたにも関わらず、突然立ち上がり歩く事があった。熱があるため、足元にはふらつきがあり、転倒しそうになった。

【対策】細目な見守り及び対応。更に認知症の方に対する適切な接し方の学習をする。

### ◆認知症対応型通所介護(デイサービスきこえ染井野(認知症対応型))

- ・利用状況

↳定員12名

↳平均年齢：85歳

・平均介護度：2.0

- ・イベント等活動報告

↳七夕、夏祭り、クリスマス会といった季節柄のイベントを実施。七夕において、浴衣の着付けを行い、利用者自身が浴衣を着る事が出来、更に浴衣のたたみ方を職員に教える場面があった。其々のイベントにおいて、利用者の方の残存能力を活かせるところが多く、楽しんで頂いた。

↳サツマイモの収穫と調理。機能訓練の一環として、利用者達が植えたサツマイモを収穫し、更にそのサツマイモを使って調理。調理内容はスイートポテトやイモコ汁であり、利用者が材料を切ったり、潰したり、炒めたりする。

- ・ヒヤリハット・事故発生状況

#### 報告①

【内容】異食行為。利用者がカラーキューブを口の中に入れようとした。

【背景】以前から異食行為がある利用者の隣に座っている方がカラーキューブを使った脳トレをしている間に、職員が目を離したすきにその利用者が隣の方のカラーキューブを取り、口にいれようとしていた。それを見つけた職員が直ぐに止めた。

【対策】異食行為が見られる利用者の周囲で口に入れそうな物を使用している場合は注意して見守っていく。

#### 4. 会社からの報告

- ・デイサービスきこえ染井野は今年1月から休止。デイサービスきこえ染井野を利用していた利用者は無事に他デイサービスが決まった。デイサービスきこえ染井野（認知症対応型）は引き続きやっていますので、よろしくをお願いします。
- ・12月末にシャロームきこえ染井野で少しインフルエンザの患者が多かった。インフルエンザが蔓延しないよう、対策をとっていき、他事業所へ感染することなかった。現時点ではインフルエンザにかかった入居者及び職員は回復し、通常通りの生活に戻った。今後、インフルエンザ予防の徹底を声かけしていく。

#### ◆出席者より質疑応答・総評

- (地域住民代表) ・臼井南中学の生徒による介護事業所きこえでの実習について、先日に学校評議委員発表会がアリーナで行われ、介護事業所きこえでの職場見学もフォローアップされていた。
- ・民生委員制度が2017年度で100周年を迎えた。基本は「人助け」、10年毎にスローガンが変わっている。90年から100年のスローガンは「広げよう、地域に根差した思いやり」でした。100年目のスローガンは、「支え合う、住みよい社会、地域から」になった。千代田地区は、7割が染井野の方で、外から引越された方が多く、地域の作り方の考え方に相違があり、地域より個人、自己責任が強い傾向がある。
- (知見を有する者) ・報告を聞き、地域との連携を大切にしていると感じた。
- ・今後から認知症デイに力を入れることは苦渋の選択だったと思うが、介護事業所きこえが認知症の方々のための拠り所になり、地域の中心になって発信出来ればと思った。
- (地域包括支援センター) ・地域包括支援センターでは、地域で認知症の啓発活動を行っている。例えば、臼井南中学生による職場体験の推進や、認知症サポーター養成講座を開催している。取り組みを行う事で地域との関係性も大事にしている。認知症サポーター養成講座に興味があれば、地域包括支援センターに相談してくださいとこと。
- (竹本) 介護事業所きこえは困っている認知症の方やその家族に手を差し伸べていきたい。それが我々の役割である。また、認知症の方々と関わることで私達の人間性も成長させてくれる。今後、認知症の方々が地域で幸せに過ごしていただけるよう地域との連携も大切にしていきたい。